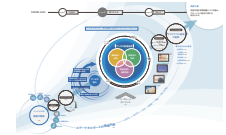


資本別価値創造モデルの解説

価値創造モデルで示したバリューチェーンの活動は、グンゼグループが蓄積してきた独自の経営資本を効率的に活用し、グンゼならではの強みを活かすことで、事業活動を強固なものにしています。ここでは各資本別に、競争優位性やステークホルダーとの価値共創を生み出す取り組みについて解説しています。

グンゼの強み

- ・基盤技術（繊維加工技術・樹脂加工技術・製造技術×装置開発）の融合による付加価値の創造
- ・市場対応型のフレキシブルグローバル生産・販売体制
- ・人間尊重による人財育成
- ・環境・地域社会との共生



資本	INPUT（2025年3月末）		特徴・強み	OUTCOME（2025年3月末）
 財務資本	・安定した財務基盤 ・中長期を見据えた資本政策 ・資本コスト経営	・総資産 159,677百万円 ・純資産 120,982百万円 ・売上高 137,117百万円 ・営業利益 7,921百万円 ・有利子負債 8,960百万円 ・長期格付（日本格付研究所）：A ・自己資本比率 74.6%	・財務健全性の維持 ・安定的・継続的な配当 ・事業セグメント別 GVA 管理	・株主への利益還元（1株配当金） 195円（総額63億円）：株式分割後 ・株主総利回り（TSR） 171.2%：2019年度（BM=100%）を基準 ・ROE 5.3%
 人的資本	・人間尊重の精神 ・「三つの鉄」の定着 ・人財の多様性	・連結従業員数 4,339人 ・資格保有者 1,464人 ※グンゼの取得奨励資格保有者数（延べ人数） ・平均年齢：43歳6ヶ月 ・平均勤続年数：19.9年	・「創業の精神」の企業理念を体現し、優良品を生み出す人財 ・能力を十分に発揮できるプロフェッショナル人財 ・お客さま視点での課題解決型営業力	・女性社員比率（単体） 35% ・女性管理職比率 6.0% ・役員層における女性比率 20.0% ・エンゲージメントの向上（エンゲージメントスコア=62点） ・ワークライフバランス 育児休職取得率（男性 78%、女性 87%） 年休取得平均日数 14.5日
 製造資本	・技術立社として最良最善の品質追求 ・強力な現場力による強靱な生産体制 ・トータルコスト力 ・ITコミュニケーション環境	・グローバル拠点数 10カ国 - 国内関係会社 29、海外関係会社 24	・自社内で完結した一気通貫生産体制 ・高い品質を生み出すための商品設計力 ・各国の規制に対応したグローバル開発力 ・マーケットイン発想に基づく差異化製品開発力 ・コア技術を結集させたオンリーワン製品開発力 ・高品質を担保するための品質保証体制	・設備投資額 75億円 ・減価償却費 68億円
 知的資本	・繊維から高分子までの幅広い知的財産および技術 ・コーポレートブランドへのロイヤリティ ・ノウハウ	・主要研究開発拠点数 2拠点 ・研究開発人員 36人 ・産官学連携プロジェクト数 8個 ・特許保有件数 国内 680件、海外 228件 ・意匠保有件数 国内 248件、海外 10件 ・商標保有件数 国内 1,914件、海外 802件 ・実用新案保有件数 国内 20件、海外 3件	・研究開発から営業まで一気通貫した付加価値の高い商品開発力 ・コア技術の深化、新規事業創出力 ・要素技術の集結と価値を最大限に発揮する開発力 ・産官学連携の推進	・研究開発費 24億円 ・特許公開件数 86件（国内 55件、海外 31件）
 社会関係資本	・地域コミュニティとの連携による社会課題解決への取り組み ・共存共栄によるサステナブル調達	・投資家・アナリストとの対話数 約460人 ・多様なパートナーシップ（サプライヤー、外部研究機関、お客さま、地方公共団体など） ・社会貢献活動（災害支援、NGO・NPOへの肌膚・樹木支援など）	・営業、開発、生産が一体となった顧客へのソリューション対応 ・顧客との連携による新たな価値の創出 ・サプライヤーとの強固な信頼関係による協業 ・原材料のトレーサビリティ管理 ・原材料の複数購買によるリスク対応力 ・盤石な企業基盤の構築	・ブランド認知度 約80%（日経ブランド・ジャパン2025調査） ・地域社会への貢献 大阪府、大阪市、京都府との地域包括連携協定 モデルフォレスト運動（森林保全活動） 4回、 合計 137人（京都府と連携） 緊急災害対応アライアンス SEMA 加盟 グンゼラバース倶楽部（NPO 団体など6団体に支援）
 自然資本	・環境配慮型製品・サービス ・樹木卸売事業	・エネルギー消費量（国内） 39,962 Kℓ（原油換算） ・年間環境関連投資 5億円（サーキュラーファクトリー関連 4億円、太陽光・エネルギー効率化 1億円）	・環境に配慮し、循環型社会を目指した商品開発 ・サーキュラーファクトリーなどによる環境負荷の低減 ・事業活動における環境負荷の低減	・CO₂排出量（国内+海外）Scope1+Scope2[※] 108,316t-CO₂（2013年度 BM 比37.2%減） ※グンゼグループ合計 ・ISO14001 取得工場数 15事業所 ・廃棄物総発生量 7,311t